

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月10日

上場会社名 株式会社 大運
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 西川 秀夫
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 大

TEL 06-6532-4101

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	5,968	—	△167	—	△122	—	△605	—
20年3月期第3四半期	7,192	36.5	△17	△117.2	9	△90.2	△27	△136.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
21年3月期第3四半期	円 銭 △10.34	円 銭 —
20年3月期第3四半期	円 銭 △0.47	円 銭 —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	5,487	2,162	39.4	36.93
20年3月期	5,956	2,628	44.1	44.88

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 2,162百万円 20年3月期 2,628百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	1.00	1.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

(注2) 20年3月期期末配当の配当原資：その他資本剰余金

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	△20.6	△267	—	△223	—	△711	—	△12.12

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務情報】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務情報】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 58,643,375株 20年3月期 58,643,375株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 82,676株 20年3月期 81,567株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 58,562,003株 20年3月期第3四半期 58,543,567株

※ 業績予想の適切な使用に関する説明、その他特記事項

・当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の運用方針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、2ページ【定性的情報・財務情報】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成20年4月1日～12月31日）は、世界の景気が急速に悪化し、その影響は広範なものになりました。わが国においては、世界経済の後退や円高進行から輸出が減少、企業収益の悪化により設備投資が縮小し、個人消費も落ち込んでおります。

当社の当第3四半期累計期間の営業収入は、5,968,090千円（前年同期比△1,224,325千円、△17.0%）となりました。一部の営業上の立替金を営業収入と営業原価の双方に含めて計上してはいたしましたが、当第1四半期からの新システム導入に伴い当該立替額を正確に把握できることになったため、財政状態及び経営成績をより適切に表示すべく、損益計算書上は両建計上を行わないことに変更いたしました。これにより、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期累計期間の営業収入、営業原価がそれぞれ1,299,225千円少なく表示されております。

当社を取り巻く事業環境が厳しさを増す中で、更に世界的な景気後退から荷動きが急速に落込み、当社の収益にも大きな影響を与えました。

また特別損失として投資有価証券評価損428,977千円等を計上しました。

この結果、当第3四半期累計期間の営業損失は167,596千円、経常損失は122,757千円、四半期純損失は605,703千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

（流動資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は 2,658,755千円となりました。前年同四半期会計期間末比487,090千円減少しております。これは営業未収金の減少332,697千円等によるものです。

（固定資産）

当第3四半期会計期間末における固定資産は 2,829,022千円となりました。前年同四半期会計期間末比823,218千円減少しております。これは投資有価証券の減少326,092千円等によるものです。

（流動負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は 2,345,221千円となりました。前年同四半期会計期間末比87,139千円増加しております。これは短期借入金の増加346,540千円等によるものです。

（固定負債）

当第3四半期会計期間末における固定負債は 980,008千円となりました。前年同四半期会計期間末比221,424千円減少しております。これは長期借入金の減少200,400千円、退職給付引当金の増加39,335千円等によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月20日に公表した平成21年3月通期業績予想数値を下記の通り修正いたしました。

記

平成21年3月期 通期業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,450	177	125	72	1.23
今回発表予想(B)	7,500	△ 267	△ 223	△ 711	△ 12.12
増減額(B-A)	△ 1,950	△ 444	△ 348	△ 783	—
増減率(%)	△ 20.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	9,448	△ 96	△ 82	△ 476	△ 8.13

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積残高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

③法人税等の算定方法

税金費用については、税引前四半期純損失であるため、年間の均等割を期間按分して計算しております。なお、法人税等調整額は法人税に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②顧客である荷主が支払うべき海上運賃、関税及び消費税を当社が一時的に立替払いした場合、従来当該立替額を営業収入と営業原価の双方に含めて計上するとともに、営業未収金として表示しておりましたが、第1四半期からの新システム導入により当該立替額を正確に把握できることになったため、財政状態及び経営成績をより適切に表示するため、第1四半期会計期間から損益計算書上は両建計上を行わず、かつ貸借対照表上は立替金として表示することに変更いたしました。これにより、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期累計期間の営業収入、営業原価がそれぞれ1,299,225千円、営業未収金が198,933千円それぞれ少なく表示されるとともに、立替金が198,933千円多く表示されております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,026,142	1,157,308
受取手形	11,831	17,604
営業未収入金	999,191	1,309,465
立替金	440,960	195,050
繰延税金資産	30,976	30,976
その他	151,675	182,018
貸倒引当金	△2,022	△2,654
流動資産合計	2,658,755	2,889,769
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	292,196	308,404
構築物（純額）	3,896	4,164
機械及び装置（純額）	3,311	2,364
車両運搬具（純額）	190,277	186,292
工具、器具及び備品（純額）	23,672	30,336
土地	576,183	576,183
有形固定資産合計	1,089,536	1,107,746
無形固定資産		
のれん	748,505	779,265
その他	10,705	12,519
無形固定資産合計	759,211	791,784
投資その他の資産		
投資有価証券	755,125	936,516
差入保証金	119,668	119,663
繰延税金資産	1,167	1,167
その他	393,320	340,448
貸倒引当金	△289,006	△230,907
投資その他の資産合計	980,275	1,166,888
固定資産合計	2,829,022	3,066,419
資産合計	5,487,778	5,956,188

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	120,961	150,214
営業未払金	569,470	649,689
短期借入金	755,000	360,000
1年内償還予定の社債	10,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	551,890	550,040
未払金	111,442	109,021
未払法人税等	42,384	45,618
賞与引当金	15,762	60,814
その他	168,310	129,342
流動負債合計	2,345,221	2,124,739
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	775,400	1,005,880
退職給付引当金	144,620	110,391
その他	59,988	76,948
固定負債合計	980,008	1,203,219
負債合計	3,325,230	3,327,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,321,658	2,321,658
資本剰余金		
資本準備金	241,563	1,153,023
その他資本剰余金	434,013	—
資本剰余金合計	675,577	1,153,023
利益剰余金		
利益準備金	5,856	13,040
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△605,703	△425,643
利益剰余金合計	△599,847	△412,602
自己株式	△10,348	△10,705
株主資本合計	2,387,040	3,051,373
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△224,492	△423,143
評価・換算差額等合計	△224,492	△423,143
純資産合計	2,162,547	2,628,229
負債純資産合計	5,487,778	5,956,188

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業収入	5,968,090
営業原価	5,769,963
営業総利益	198,127
販売費及び一般管理費	365,723
営業損失(△)	△167,596
営業外収益	
受取利息	1,417
受取配当金	14,492
保険返戻金	36,239
その他	25,141
営業外収益合計	77,290
営業外費用	
支払利息	31,739
その他	712
営業外費用合計	32,451
経常損失(△)	△122,757
特別利益	
固定資産売却益	3,506
投資有価証券売却益	5,087
償却債権取立益	3,967
その他	671
特別利益合計	13,233
特別損失	
固定資産売却損	14
固定資産除却損	334
投資有価証券売却損	1,276
投資有価証券評価損	428,977
貸倒引当金繰入額	60,097
特別損失合計	490,700
税引前四半期純損失(△)	△600,224
法人税、住民税及び事業税	5,479
法人税等合計	5,479
四半期純損失(△)	△605,703

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

欠損金の補填を実施するとともに配当可能原資の充実を図り、今後の資本政策に備えるため、会社法448条第1項の規定に基づき、資本準備金を911,459千円取り崩し、その他資本剰余金に振替えました。また、利益準備金全額13,040千円を取り崩し、繰越利益剰余金(その他利益剰余金)に振替えました。会社法452条の規定に基づき、その他資本剰余金を412,602千円取り崩し、繰越利益剰余金に振替えて欠損填補いたしました。

これらは、平成20年5月20日開催の当社取締役会において決議し、平成20年6月26日開催の当社株主総会において承認可決されたものです。

準備金の取り崩しは「純資産の部」の勘定内の振替処分となり、当社の純資産額に変動はなく、当社の業績に与える影響はありません。

「参考資料」

前年度第3四半期に係る財務諸表

(要約) 第3四半期損益計算書(累計期間)

(単位:千円)

科目	前年度同四半期 (平成20年3月期) (第3四半期累計期間)
	(金額)
I. 営業収入	7,192,415
II. 営業原価	6,821,894
営業総利益	370,521
III. 一般管理費	387,861
営業損失	17,339
IV. 営業外収益	71,072
V. 営業外費用	44,497
経常利益	9,235
VI. 特別利益	50,164
VII. 特別損失	52,046
税引前四半期純利益	7,353
法人税等	34,632
四半期純損失	27,279